

一般質問

～10人の議員が市政を問う～

※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P8 茂木 弘伸 議員

- 豊秋公民館について
- 市営駐車場の管理、運営について

P8 加藤 幸子 議員

- 介護保険制度について
- 高齢者福祉施策について
- ダブル選挙時の投票方法と投票所等について

P9 反町 英孝 議員

- 渋川市の働き方改革について
 - 1 会計年度任用職員制度
 - 2 年次有給休暇

P9 山崎 正男 議員

- 上信自動車道開通後の活用対策は
 - 1 安全対策に関して
 - 2 関連施設の影響見通しは
 - 3 渋川地区内での接続路線の対応は

P10 須田 勝 議員

- 市民のしあわせが第一
 - 1 終活支援
 - 2 家族再生
 - 3 2年目を終える高木市政

P10 安カ川 信之 議員

- 医療を核にしたまちづくり
- 市民生活向上の取り組み

P11 田村 なつ江 議員

- 渋川医療センターにかかわる諸問題について
- 太陽光発電設備について
- 第二庁舎の安全性及び利活用について
- 硯石の大石について
- 伊香保町の駐車場について

P11 角田 喜和 議員

- 公共施設の民間譲渡による諸問題について
- 学校給食共同調理場の運営について
- 環境問題と環境に関する覚書について

P12 板倉 正和 議員

- 中心市街地の活性化
- 遊休市有地の利活用について

P12 田邊 寛治 議員

- 基幹交通の現状と計画策定に向けて
- 市町村誌の現状について

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。渋川市議会ホームページからご覧いただけます。



茂木 弘伸

豊秋公民館と市営駐車場について

質問 築39年経過、市内で最も古くて狭い豊秋公民館、市総合計画で、今後どのようにしていくのか。

教育部長 診断の結果、建物が耐震基準を満たしていないことから、地域づくりの場及び災害時の避難所としての安全確保のため耐震補強工事を行う計画です。

質問 計画では耐震補強とのことだが、建て替えが検討されている古巻公民館より7年古い豊秋公民館。耐震補強しても面積、使い勝手等改善されない。敷地も含め建て替えたらどうか。市長に伺う。

市長 公民館は、高齢化が進む中で地域住民のふれあいの場であるとともに、防災施設としての機能や子育ての支援など、地域の総合的な拠点施設としてさまざまな役割を果たせるよう、建て替えなどを含め検討していきます。

質問 市営駐車場の収支と運営は縦割りとなっているが、一括管理運営できる組織はつくれないか。

市長 現在、公共施設管理公社の改革を進めています。市営駐車場

の管理運営なども、公社が一括して行い、効率的かつ効果的に取り組むことが重要だと考えています。

質問 市内に8駅がある。国が提倡しているパークアンドライド。定住促進、市民の利便性向上のため積極的に推進をしたらどうか。

市長 今は車社会になっていますが、車に頼らず、公共交通や自転車等、いろいろな手段を市民一人一人が選択できるように、本市のモビリティマネジメントをしっかり構築していきたいと考えています。



建て替えが待たれる豊秋公民館



加藤 幸子

介護認定者の障害者控除の勧奨を

質問 伊勢崎市では介護認定者の障害者控除に該当する人に申請書を送付し勧奨している。渋川市でも実施していただきたいがどうか。

スポーツ健康部長 伊勢崎市や他市の取り組み状況を踏まえ、広報等の周知も含め、対象者に対する勧奨について検討していきます。

質問 介護予防に市をあげて取り組んでいるが、集会所が近所になく歩いていけない人が多い。今後、どのように進めていくのか。

スポーツ健康部長 場所の確保としては、公共施設の利用も含め地域の方と一緒に探すなどしています。今後も寺院や店舗も含めての開拓を一緒に考えていきます。

質問 高崎市では、高齢者の在宅介護支援として、家族や介護者の負担軽減のため、緊急時にヘルパー派遣やショートステイの利用ができる「介護SOSサービス」を行っているが、渋川市でも実施を。

福祉部長 本市では、地域共生型地域包括ケアシステムの構築を進めており、地域で暮らし続けるた

めに必要な在宅高齢者支援サービスについて、事業者と協議を進めます。

質問 参議院選挙と知事選の投票時、それぞれの用紙が同時に渡された。今回の無効票はどれくらいあったか。無効票を出さないため、今後は丁寧な投票方法でやるべき。

総務部長 無効票は知事選1330票、参院選挙区3377票、参院比例1441票。期日前投票途中から別々交付に変更し、当日は例外措置（2枚同時交付）とした。



さらに高齢者の安心・安全の確保へ

一般質問



反町 英孝

渋川市の働き方改革を推進

会計年度任用職員制度

質問 来年4月より臨時・非常勤職員に適用される会計年度任用職員制度の今後のスケジュールは。

総務部長 事務処理マニュアルの作成、担当者説明会等を行い、円滑な会計年度任用職員制度導入を進めていきます。

質問 制度導入により令和2年度の予算における経費の増額は。

総務部長 本年度と同条件で会計年度任用職員を雇用した場合、8400万円程の増加が見込まれます。率で8・6%の増加です。

質問 渋川市に勤務する職員の同一労働同一賃金の考え方は。

総務部長 正規職員と臨時職員で同じ仕事をしているわけではありません。正規職員の業務を補完する役割を担っています。

年次有給休暇

質問 市職員の昨年の年次有給休暇取得率ならびに年次有給休暇取得5日未満の人数は。

総務部長 繰越分も含めた年次有給休暇取得率は26・2%です。

取得日数5日未満の職員数は、190人となっています。

質問 渋川市における今年度の年5日の年次有給休暇取得方法は。

総務部長 所属長に対し、年次有給休暇の確実な取得を指示しました。また、休暇日を指定して取得する等の対応も行います。

質問 年5日の年次有給休暇を取ることができなかった場合の罰則対応。

総務部長 地方公共団体として、罰則、罰金に関係なく法令を遵守していかなければならないと考えています。



多くの職員が働く渋川市



山崎 正男

上信自動車道開通後の活用対策は

安全対策に関して

質問 雨水対策で逆川の河川敷の立木雑木等の伐採を。

建設部長 逆川は一級河川であるため、河川管理者は群馬県になります。対策が必要な箇所があります。開通までに県において処置を講ずることと考えています。

関連施設の影響見直し

質問 道の駅兼発掘遺跡等の史料館建設の促進を。

市長 金井遺跡群の出土品を地元で見ってもらうことは大事ですが、史料館建設の是非を含め、全体としてのコンセプトや地域の皆さんの意見を総合して、道の駅のあり方を考えたいと思います。

質問 スカイランドパークを北関東一番の遊園地にするため遊具の増設を。

建設部長 遊具の新設等についての計画は予定していませんが、アンケート調査を基に、ニーズを把握し、地域に親しまれ、魅力ある遊園地づくりに努めていきます。

市内接続路線の対応は

質問 市道大塚大輪原線の改良計画はないのか。

建設部長 道路整備計画に位置づけており、事業着手時期は、財政状況を踏まえ、有効性、経済性や開通後の交通量変化などの社会動向を見極め、判断していきます。

質問 市道伊香保金井線の改修の考えは。

建設部長 既に改良済み区間であるため、改良計画はありませんが、開通により当該路線の交通量に変化が生じ、車両の通行上、支障があれば対策を講じます。



北関東一の遊園地に



須田 勝

市民のしあわせが第一

終活支援

質問 成年後見制度の条例を制定し、サポートセンターを開設したが、手続き方法、市民への周知は。

福祉部長 制度利用は家庭裁判所に申し立てが必要です。市民の権利擁護を行っている機関を通じて制度及び条例について周知します。

質問 終活イベント「ハッピーエンドフェスタ」は現在年1回だが、開催場所、回数を増やすことは。

福祉部長 主催者であるハッピーエンドしぶかわ実行委員会の意向に沿って支援したいと考えます。

家族再生

質問 家族といえない世帯が6割強が現状。人口減少対策本部の取り組みと成果を聞く。

総合政策部長 人口減少対策には、年度ごとにテーマを設定し各種事業に取り組みできました。今後も、より一層の取り組みを進めます。

質問 少子化の進行を見据えた、学校の統廃合、「やる気」は。

教育長 保護者や地域への情報提供を十分に行い、合意形成を図り

ながら取り組みます。

2年目を終えた高木市政

質問 初登庁以来2年が経過し、「明日の渋川」をひらく6つの挑戦を公約としてスタート。これまでの実績と、これからの課題は。

市長 おおかたの公約には取り組んできました。今後も公平・公正・責任のある市政に職員と共にスピーディーに取り組んでいきます。

質問 いまだ副市長を選任しないのはどうしてなのか。
市長 理念を共有できる適任者の選任を今後検討していきます。



子ども議会で答弁する高木市長



安力川信之

「がんに立ち向かい、闘うための条例」を

医療を核にしたまちづくりを

質問 渋川医療センターのさらなる充実のため、救命医確保を。そのための財政支援の考えは。

市長 外科医の確保は喫緊の課題です。救命率向上につながることは市民理解を得られると思うので財政負担を検討していきます。

質問 渋川医療圏を活用した、医療ツーリズムの支援の考えは。

市長 本市は観光地もあり交通の利便性も良く医療体制も整っています。市営住宅の空き部屋等の活用も含めて支援策を検討します。

質問 がん治療は日々進化している。早期治療が大切だ。市、市民、医療機関などの責務を明確にした「がんに立ち向かい、闘うための条例」制定を。

市長 がんと共に存する時代になりました。健康寿命の延伸には、がん克服が重要です。国、県の法体系に沿って、市としてのがん対策を推進していくため、がん克服条例の制定に向けて検討を進めます。

質問 医療用ウィッグや、胸部補

整具やエビテーゼなどの補助の考えは。

スポーツ健康部長 昨今のがん治療はさまざまな治療方法が確立されています。がん等の治療により外見的变化があった方への補助制度等について検討を進めていきたいと思います。

質問 市として、がん患者やその家族などに対しての相談窓口を。
スポーツ健康部長 がん患者等の相談に関しては、渋川医療センターの専門の相談窓口等と連携、協力して対応していきます。



渋川医療センターの充実を

一般質問

市民部長 太陽光発電設備の廃棄等は国が示すガイドラインにより、また、その処理は廃棄物処理法にのっとり発電事業者等により適正な処理がされていくと考えます。

第二庁舎の利活用を

質問 1階の廊下が目印も少なく施設がわかりにくい。壁などを利用し健康づくりの仕組みを健康意識の向上につなげては。



安全性が求められる太陽光発電

質問 現在働いている調理員等の新たな職場はどのように確保されるのか。身分保障はどうなるのか。

教育部長 民間委託を予定している南部学校給食共同調理場の臨時職員につきましては、民間委託後も委託先において、希望があれば雇用できるように、安心して継続して働けるように十分に配慮していきます。



民間委託される南部調理場

総合政策部長 公共交通網を全体的に捉え、効果的な運行ができるよう検討します。横断歩道設置は、引き続き警察へ要望していきます。

太陽光発電の安全性と廃棄処理

質問 住宅周辺に設置されたり、山林が伐採され土砂災害などによる破損で、太陽電池モジュールの有害物質が露出し、健康面への影響が懸念される。破損した物や耐用年数経過後の処理方法は。

教育部長 市では指定理由が明確であるよう指定基準を設けていますが、硯石は指定基準と合致しないため指定予定はありません。

質問 赤城山が噴火した際に押し流されてきた大石。上のくぼみを硯に見立て墨をすり親鸞が一首詠んだとされた貴重な硯石を市の文化財に指定する考えは。

教育部長 南部学校給食共同調理場の調理及び配送等の業務委託については、早ければ令和2年2学期から民間への移行を目指して進めていきたいと考えています。北部学校給食共同調理場及び(仮称)アレルギー対応給食センター・東部学校給食共同調理場については、当面直営を続けていきます。

質問 現在働いている調理員等の新たな職場はどのように確保されるのか。身分保障はどうなるのか。

市民部長 事業者の説明会の内容は、実施状況報告書として県に出すこととなっております。県からその内容が市に通知されているので、地元で出された意見は把握しています。引き続き県との連携を密に行い、情報の把握に努めます。



田村なつ江

生き生き暮らせる渋川市に

医療センター直通バスを

質問 渋川医療センターに直接乗り入れるバス路線を望む。また隣接する薬局に行くための横断歩道の設置ができないか。

スポーツ健康部長 健康づくりのための、歩幅やメートル表示などは、今後検討していきたいと思えます。

硯石を市文化財に指定を

質問 学校給食共同調理場の民間委託は反対である。教育長からは学校給食共同調理場について「民間委託は関係課と調整し、適正な時期を検討します」と答弁があった。どこの調理場をいつから民間委託に移行する考えなのか。

質問 大同特殊鋼の産業廃棄物最終処分場の汚染した地下水浸出液をくみ出している。浸出水処理施設の建設に伴う地元自治会説明会が行われている。市は内容についてどこまで把握しているのか。市としてどう対処する考えか。



角田 喜和

学校給食共同調理場の民間委託は反対



板倉 正和

魅力ある楽しいまち渋川

中心市街地の活性化

質問 中心市街地活性化プランの取り組みと成果、改善が必要では。

産業観光部長

渋川駅前の駐車場の整備や空き店舗対策、観光案内所の設置など活性化に向け取り組み、一定の成果を上げたと考えます。

質問 安全安心なまちづくりのため、防犯カメラの早期設置を。

市長

今年度予算に防犯カメラの整備費を増額しました。これからもまちの安全のために防犯カメラの整備を積極的に進めていきます。

質問 空き店舗バンクを作成し、中心市街地の魅力アップに力を注いでいただきたいが、本市の取り組みは。

産業観光部長

空き店舗対策重点エリアを対象として空き店舗バンクを創設し、市ホームページで情報公開することを検討しています。

質問 公共施設、病院に通う高齢者の移動支援事業のタクシー券は大変便利だが、一人利用する際の枠を広げてもらいたい。

市長

タクシーを活用した高齢者



中心市街地

の移動手段の確保は効果的であると実感しています。できるだけ早い時期に見直せるよう前向きに取り組んでいきたいと考えます。

遊休市有地の活用について

質問 平成27年度に解体した市営住宅金井団地を公売することになっているが、時間がかかりすぎではないか。

建設部長

跡地内の市道は、隣接する住民の生活道路であり、その付け替えや上下水道等の再整備が必要であったため、所定の時間を要したものです。

基幹交通の現状と計画策定に向けて



田邊 寛治

質問 第2次渋川市総合計画における公共交通の観点からの考え方。

市長

大きな目標である総合計画を羅針盤として、公共交通を取り巻く社会情勢の変化にスピーディーに対応していきます。

質問 基幹交通の施策の現状は。

総合政策部長

バスの利用を促進する敬老割引の補助や高齢者の移動を支援するタクシー利用券による補助などに取り組んでいます。

質問 社会福祉協議会の「ささえあい買い物事業あいのり」等の事業内容や事業評価は。

総合政策部長

公共交通を補完する重要な取り組みであり、買物を通じて高齢者間の交流や介護予防などの効果もあると考えています。

質問

デマンド交通について、渋川市の認識は。

総合政策部長

多様な運行形態が可能のため、公共交通の再編の中で基幹的なバス路線を補完する交通手段の一つとして検討します。

市町村誌の現状について

質問 市町村誌の意義と教育的文

化的な役割は。

教育長

地域の文化や歴史を住民共有の財産とし、貴重な歴史資料を継承する役割を担っています。

質問 合併前の市町村誌の状況と追補版の作成予定は。

教育部長

全市町村誌が刊行済みですが、追補版は2村のみです。ほかは作成予定はありません。

質問 市町村誌の策定管理部署と新渋川市誌の策定予定は。

教育部長

以前は市長部局でした。新市誌は未定ですが、策定を視野に入れ資料収集・整理に努めます。



朝の公共交通（JR渋川駅）